市議会だより

視察 研修 報告

常任委員会

総務教育常任委員会研修
7月9日～11日

公共施設再配置の取り組み

研修先　神奈川県秦野市

研修概要　首都圏に属する当市においても、人口減少と少子高齢化が急激に進み、現有の公共施設の総量を維持し続けることは財政面からも不可能と判断。そのあり方を抜本的に見直すため、「公共施設白書」を作成した上で、再配置に関する方針を定め、これに基づく具体的な計画を制定している。

地域防災計画

研修先　埼玉県さいたま市

研修概要　東日本大震災の教訓を踏まえ、連鎖的に発生が懸念される大地震や台風などとの複合災害、放射性物質拡散や竜巻被害など、今後発生する可能性を否定できないあらゆる災害を想定して、本年6月に地域防災計画を改定し、BCP（業務継続計画）など、関連する種々の計画に反映させている。

市民協働のまちづくり

研修先　埼玉県志木市

研修概要　市民と協働して運営する持続可能な市民主体の自治を実現するために、協働の仕組みとルールを示した指針を策定。当市における協働の実績を踏まえつつ、「市民がオーナー、市長はシティマネージャー」の基本方針に基づき、協働の推進に取り組んでいる。

東京湾アクアラインを利用したまちづくり

研修先　千葉県木更津市

研修概要　千葉県の社会実験で実施されるアクアラインの料金引き下げの効果を着実に交流・定住人口の増加や企業誘致促進に結びつけるなど、経済の活性化によるまちづくりに取り組んでいる。

民生常任委員会研修
7月18日～20日

統合新病院実現に向けた取り組みおよび新火葬場建設

研修先　長野県岡谷市

研修概要　当市は、公立2病院を平成18年に公営企業法全部適用病院として経営統合し、22年の施設集約により「岡谷市民病院（統合病院）」となった。現在27年開院を目指し、新病院建設計画が進行している。

新火葬場建設については、1市1町7万4千人の広域行政組合の建設運営となっている。火葬炉4基を備え、1日最大7件に対応し、正月3日間のみ休館として通年営業している。外観はそれとは感じさせないデザインで、周辺環境と調和し市民の理解を得て運営されている。

健康長寿のまちづくり

研修先　長野県佐久市

研修概要　〝ぴんぴんころり〟の合言葉で、市民参加の「保健補導員」制度や基幹病院の協力による健康管理情報発信などで、市民・医療機関・行政一体の活動が健康長寿のまちづくりに結実している。

認定こども園

研修先　横浜市

私立ゆうゆうのもり幼保園

研修概要　「子どもを大切にする」を、建物でメッセージとして伝えるために、施設設計には渡邉英則理事長の熱い思いが注がれている。幼保一体施設として「子どもが主体の保育」を実現するための、発達段階にあわせた多様な仕掛けがちりばめられている。「百聞は一見にしかず」だ。

▲ゆうゆうのもり幼保園にて

議会日誌

7月

- 24日　議会改革特別委員会
- 26日　地域内分権調査特別委員会
- 31日　総務教育常任委員会

8月

- 1日　議会運営委員会
- 2日～3日　議会広報委員会視察研修
- 6日　県市議会議長会議員研修会
- 10日　県離島振興市町村議会議長会
- 13日　民生常任委員会
- 16日　建設経済常任委員会
- 20日　議会広報委員会
- 21日　建設経済常任委員会
- 22日　三観衛生組合議会
- 22日～24日　総務教育常任委員会
- 27日　建設経済常任委員会
- 28日　視察研修
- 29日　三観広域行政組合議会
- 31日　建設経済常任委員会
- 31日　全員協議会
- 31日　民生常任委員会

9月

- 5日　議会改革特別委員会
- 8日　議会運営委員会
- 11日　議会改革特別委員会
- 12日　定例会（一般質問）
- 13日　定例会（一般質問）
- 18日　決算特別委員会
- 19日　全員協議会
- 19日　定例会（一般質問）
- 19日　議会運営委員会
- 19日　議会広報委員会
- 19日　総務教育常任委員会
- 19日　建設経済常任委員会
- 19日　民生常任委員会

建設経済常任委員会研修
8月22日～24日

農産物の生産から加工・流通・販売まで一貫して取り組む新しい農業

研修先　鹿児島県指宿市

㈱アグリスタイル

研修概要　「農業が子どもたちの将来の夢に」を目標とし、地産地消、食育に全力をあげている。土づくりにこだわり、付加価値をつけ、ブランドの野菜を粉にして、うどん・パウダーなどの独自商品を開発し、6次産業化を目指す。販路も自ら開拓し安定供給を図る。ネットサービスを駆使し、限られた人数で取り組んでいる。

安心・安全な「食」の生産・供給体制づくり

研修先　鹿児島県南九州市

研修概要　消費者の視点に立った食品安全対策の推進で4政策に重点をおき、健全な農業の発展、生産性の向上および経営安定を図る。

水道料金の統一

研修先　鹿児島県南九州市

研修概要　合併後5年は現行のまま水道事業の経営状況を把握分析し、段階的に調整し統一する。総括原価主義に基づき本年から改定し、26年度には統一した料金となる。

都市農業センターの管理運営

研修先　鹿児島県鹿児島市

研修概要　農業技術の実証と普及研修を行い、農業に対する理解と相互交流を深め、市民の健康づくりを目的として運営されている。

特別委員会

議会広報委員会研修
8月2日～3日

議会広報紙作成手順、現状および議会改革での役割

研修先　兵庫県西脇市

研修概要　充実、読んでもらえる議会広報の一環とし、昨年1色刷りから表紙はカラーで、紙面は2色刷りに変更。市広報とは別に独自発行。市民参加の工夫として、「まちの声」のコーナーを設けている。一般質問は1人1／2ページを使用し、問答形式が中心。本会議の議案審議結果の個人別賛否掲載、議会報告会の案内、定例会の予定なども掲載。

研修先　滋賀県米原市

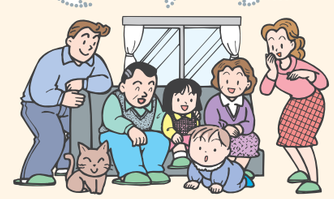
研修概要　議会広報の議会改革での役割や発行手順を議員全員で共有している。誰もが編集できるよう「議会だより作成の手引き」も作成。

研修先　滋賀県栗東市

研修概要　議会広報紙は、単独発行していたが、経費削減のため市広報に差し込み、2色刷りを1色刷りに、また、一般質問のスペースも1人1／2から1／3ページとしている。

お詫びと訂正　市議会だより（広報8月号9ページ5段中1問目の答）の「民族」は「民俗」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

市民と語る会のご案内



「議会基本条例」制定を前に、「市民と語る会」を行います。

ご意見をいただきながら議会改革を進めます。ぜひご参加ください。

なお、議会ホームページで、10月9日から同月31日まで、議会基本条例（案）に対するパブリックコメントも実施します。

日時および場所

月	日	時間	場所
10月	15日(月)	いずれも午後7時から	財田町公民館
	16日(火)		山本町保健センター
	17日(水)		仁尾町文化会館
	18日(木)		市民交流センター
	19日(金)		マリンウェーブ
	22日(月)		三野町保健センター
	23日(火)		高瀬町農村環境改善センター

●三豊市議会だよりの発行・編集は　三豊市議会・議会広報委員会　〒767-8585 三豊市高瀬町下勝間2373番地1　☎73-3009